

# 経尿道的膀胱腫瘍切除術

ステップ名称		手術前日	手術当日（前）	手術当日（後）	術後1日目
		1日目	2日目		3日目
			手術前	手術後	
治療（処置）				 心電図モニターがつきます	⇒ 心電図モニターがつきます
				 酸素吸入をします	⇒ 酸素吸入をします
				 尿管が入っています 術後3日以降に管を抜きます	⇒ 尿管が入っています 術後3日以降に管を抜きます
				 膀胱内抗がん剤注入を行いません （該当患者様のみ）	
薬剤			 内服薬がある場合は少量の水で内服します	 膀胱内で血液の塊が出来ることを防ぐため、生理食塩水を持続的に膀胱内に流します	⇒ 膀胱内で血液の塊が出来ることを防ぐため、生理食塩水を持続的に膀胱内に流します
					 膀胱内で血液の塊が出来ることを防ぐため、生理食塩水を持続的に膀胱内に流します 7時に終了します
注射			 午後に手術の場合は術前から点滴があります	 点滴があります	 点滴があります 必要時膀胱内に治療の薬を注入します
検査					 血液検査があります
食事/栄養		 普通食 24時以降絶食です	 水分をとることができませんが、うがいは出来ます	 絶食です 手術後3時間以降、許可があれば飲水できます	 朝から普通食です
日常生活ケア	安全/活動	 制限はありません		 手術後はベッド上安静です	 主治医の許可があれば朝から歩行可能です
	清潔	 シャワー浴を行います			 体を拭きます
日常生活ケア	教育/指導	 手術に関する説明をします 絶飲食について説明をします	義歯や貴金属などは外します		 中止中の薬があれば内服再開の確認をします
	排泄	 内服中の薬で手術に伴い中止する薬の有無を確認します			
観察		 制限はありません			
		 体温、血圧、脈拍、SpO2を測ります	⇒ 体温、血圧、脈拍、SpO2を測ります	 体温、血圧、脈拍、SpO2を測定します 覚醒状態をみていきます 尿量、血尿度、下腹部緊満、尿道痛、下腹部痛などを観察します	⇒ 体温、血圧、脈拍、SpO2を測定します 覚醒状態をみていきます 尿量、血尿度、下腹部緊満、尿道痛、下腹部痛などを観察します
リハビリ/その他	 歯科受診があります				

# 経尿道的膀胱腫瘍切除術

ステップ名称		術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目
		4日目	5日目	6日目	7日目
治療（処置）			 主治医許可あれば尿の管を抜きます	 主治医許可あれば尿の管を抜きます	 残尿測定をします
			 残尿測定をします	 残尿測定をします	
		 尿の管が入っています 術後3日以降に管を抜きます	 尿の管が入っています 術後3日以降に管を抜きます	 尿の管が入っています 術後3日以降に管を抜きます	
薬剤					
注射					
検査					
食事/栄養		 普通食です	 普通食です	 普通食です	 普通食です
日常生活ケア	安全/活動	 制限はありません	 制限はありません	 制限はありません	 制限はありません
日常生活ケア	清潔	 体を拭きます	 体を拭きます		
			 シャワーできます	 シャワーできます	 シャワーできます
日常生活ケア	教育/指導		 パンフレットを用いて退院までに 退院指導を受けます	 パンフレットを用いて退院までに 退院指導を受けます	 パンフレットを用いて退院までに 退院指導を受けます
日常生活ケア	排泄		 尿の管抜去後は尿器または計量カ ップに排尿し、尿量を測定して いただきます	 尿の管抜去後は尿器または計量カ ップに排尿し、尿量を測定して いただきます	 尿の管抜去後は尿器または計量カ ップに排尿し、尿量を測定して いただきます
			 バルン抜去後より機械で残尿量の 測定をします	 バルン抜去後より機械で残尿量の 測定をします	 バルン抜去後より機械で残尿量の 測定をします
観察		 体温、血圧、脈拍、SpO2を測定し ます 尿量、血尿度、下腹部緊満、尿道 痛、下腹部痛などを観察します	 体温、血圧、脈拍、SpO2を測定し ます 尿量、血尿度、下腹部緊満、尿道 痛、下腹部痛などを観察します	 体温、血圧、脈拍、SpO2を測定し ます 尿量、血尿度、下腹部緊満、尿道 痛、下腹部痛などを観察します	 体温、血圧、脈拍、SpO2を測定し ます 尿量、血尿度、下腹部緊満、尿道 痛、下腹部痛などを観察します
			 バルン抜去後、自尿、残尿量、残 尿感、排尿困難、排尿時痛などを 観察します	 バルン抜去後、自尿、残尿量、残 尿感、排尿困難、排尿時痛などを 観察します	 バルン抜去後、自尿、残尿量、残 尿感、排尿困難、排尿時痛などを 観察します
リハビリ/その他					